

平成18年4月3日

郵政民営化委員会の発足について

社団法人 全国地方銀行協会
会 長 瀬 谷 俊 雄

今般、郵政民営化委員会が発足し、本日初会合が開催されました。

今後、郵政民営化に向けた検討が本格化し、徐々に民営化の具体的な姿が明らかになるものと見込まれますが、私ども地方銀行が懸念しておりますのは、郵便貯金事業の完全民営化の過程において、暗黙の政府保証を残したまま経営の自由度だけが高まり、かえって民業圧迫の深刻化が進むといった事態を招くことであります。

こうした事態を回避するには、経営規模の縮小、公正な競争条件の確保、地域との共存の観点を踏まえて、郵便貯金事業を民間市場に円滑に統合することが不可欠であり、こうした点について郵政民営化委員会がそのチェック機能を十分に発揮されるよう強く期待いたします。

また、郵政民営化委員会の運営に際しましては、私ども地方銀行など地域金融機関の意見も十分に反映していただくよう要望いたします。

以 上